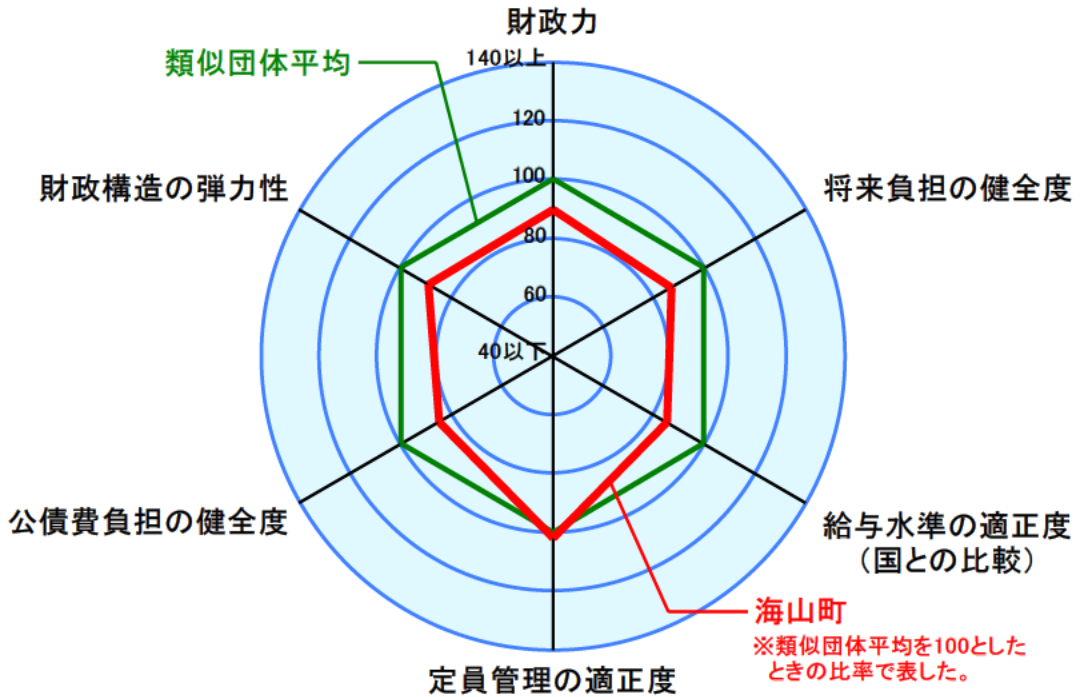
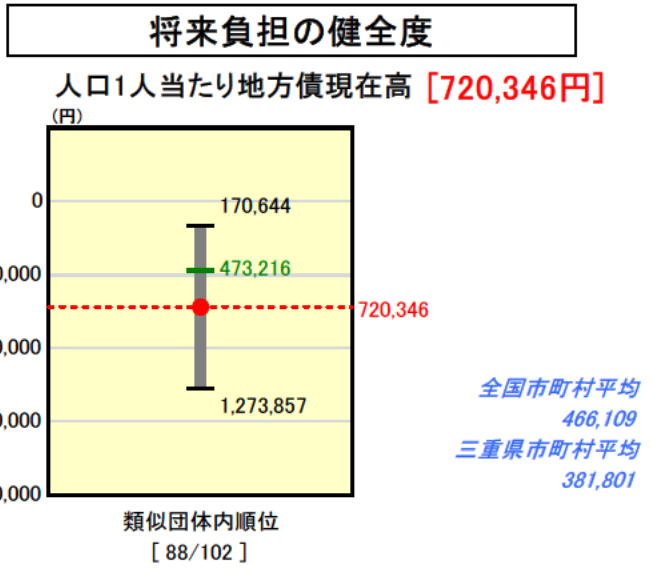
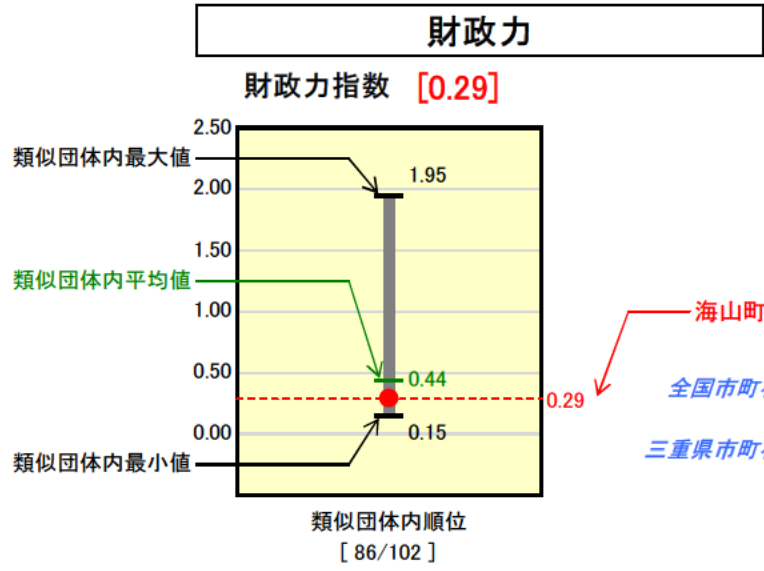


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

三重県 海山町

人口	10,035 人(H17.3.31現在)
面積	146.35 km ²
歳入総額	6,530,418 千円
歳出総額	6,281,025 千円
実質収支	225,058 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数: 人口の減少が進む中、産業の中心である農林水産業は木材価格の下落、漁獲量の減少、魚価の低迷などに加え、平成16年の災害により更に税収が減少することが見込まれる。平成17年度の合併を機に、スケールメリットを最大限に生かした行財政改革に取り組む一方、地場産業の振興等により財政の健全化を図る。

経常収支比率: 公債費や人件費など義務的経費の占める割合が高く、経常収支比率は全国平均を上回っている。今後は、収入面では、税収の確保を図る一方、地方債の借入総額を極力抑制することによる公債費の削減、合併による効果を活かした人件費の削減、物件費の削減を行うなど経常経費の削減に努める。

起債制限比率: 平成9年度、10年度に整備したRDF施設など大型事業の実施による影響により、起債制限比率は全国平均を大きく上回っている。今後は、既に借り入れているものの借換、新規借入を極力抑制するなど、起債制限比率の抑制に努める。

地方債現在高: RDF施設等の大型事業の影響、平成16年の災害に伴う援護資金の貸付等により全国平均を大幅に上回っている。将来の負担を少しでも軽減するよう、新規発行の抑制による財政の健全化を図る。

ラスパイレス指数: 年功的な給与体系により全国町村の平均を上回っているため、級別定数の適正化と、より職務職に応じた給与体系への転換により、グループ平均水準を目標に削減努力を行う。

人口1,000人当: 平成14年度から退職者不補充により職員数削減を図っているところである。今後とも組織の効率化及び職員採用抑制により、削減率5%を目標として職員削減に努める。

